

福島第一原子力発電所の20Km以遠の走行モニタリング結果について

平成23年3月27日10時00分現在
文 部 科 学 省

- * 1 GM(ガイガー=ミュラー計測管)における値
- * 2 電離箱における値
- * 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【A】 (約24km南)	3月26日12時02分	2.8 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【A】 (約24km南)	3月26日12時12分	2.2 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【A】 (約24km南)	3月26日12時18分	6.0 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【A】 (約24km南)	3月26日12時22分	5.8 ^{*2}	降雨無し	文部科学省
測定エリア【A】 (約24km南)	3月26日12時30分	4.2 ^{*2}	降雨無し	文部科学省

福島第一原子力発電所周辺の走行モニタリング結果



測定日時
3月26日
12時02分～12時30分
→ 測定エリア

A
2.2～6.0

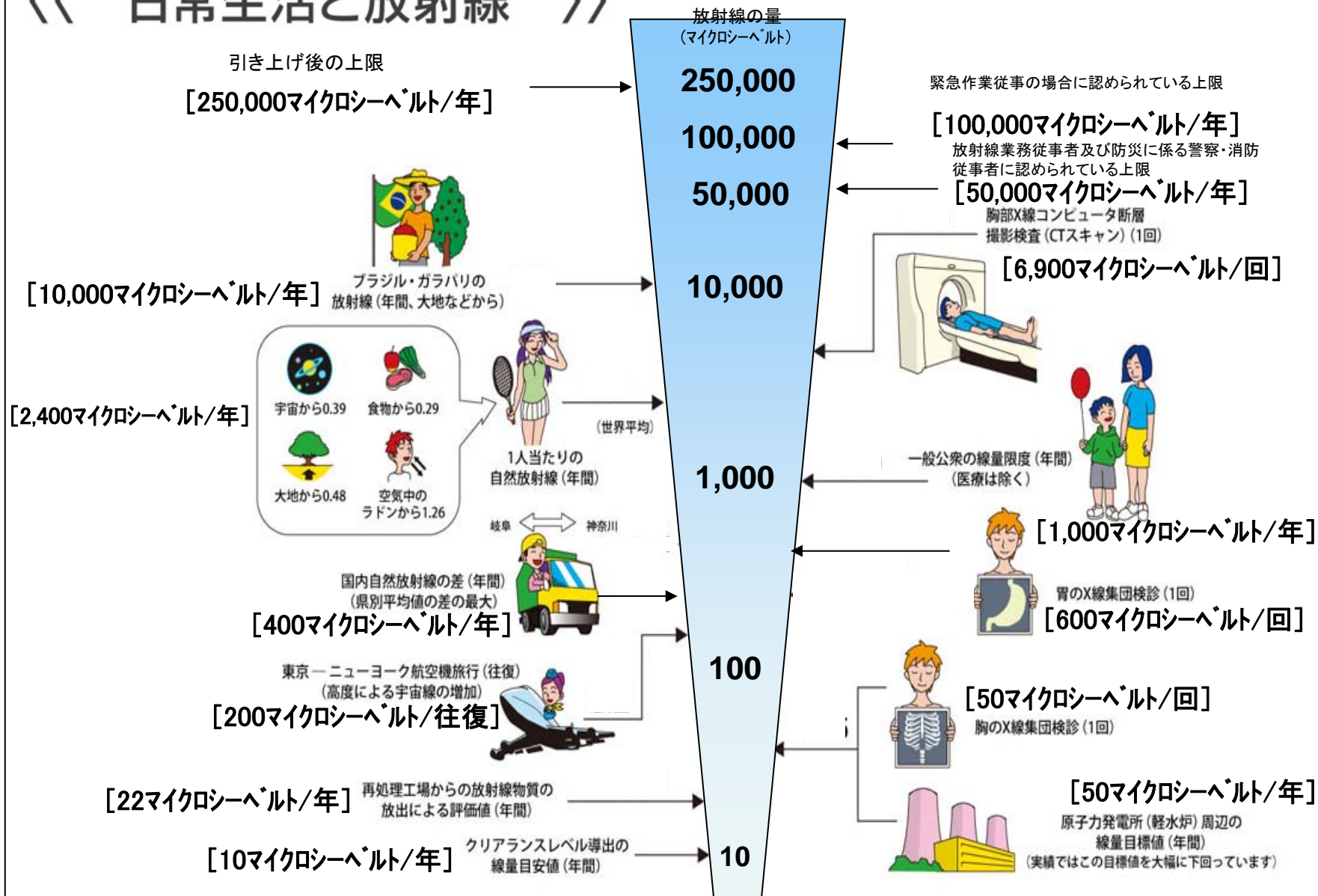
単位: マイクロシーベルト毎時

屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: μSv)		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ・ ウランによる骨表面又は肺の等価線量 ・ プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量 	
10,000～ 50,000	100,000～ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000 以上	500,000 以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和 55 年 6 月 30 日原子力安全委員会決定 (最終改訂 平成 22 年 8 月 24 日)) より

《 日常生活と放射線 》



※ Sv【シーベルト】=放射線の種類による生物効果の定数(※) × Gy【グレイ】 ※ X線、γ線では 1